



実務に役立つ！

社 労 士 試 験

予 想 問 題 集

社会保険労務士 坪 義生

問題編Q/A解答編

【労働基準法】□改正のポイント

1. 時間外労働の削減
●正誤問題①Q/A ●正誤問題②Q/A
2. 法定割増賃金率の引き上げ
●正誤問題③Q/A
3. 年次有給休暇の時間単位付与
●正誤問題④Q/A

【労災保険法】□改正のポイント

1. 自動変更対象額の変更
2. 受動喫煙防止対策助成金制度の創設
●正誤問題⑤Q/A ●正誤問題⑥Q/A

【雇用保険法】□改正のポイント

1. 賃金日額、基本手当日額の最低限度額・最高限度額の引き上げ
2. 再就職手当、就業手当、常用就職支度手当における基本手当日額の上限の引き上げ
3. 再就職手当の給付率引き上げ及び支給要件の緩和
●正誤問題⑦Q/A
4. 常用就職支度手当の給付率引き上げ及び支給対象者の拡大
●正誤問題⑧Q/A
5. 受講手当の支給日数の上限設定

6. 通所手当の支給対象の追加等
7. 移転費の支給要件の変更
8. 個別延長給付の延長と判断基準の追加

【徴収法】□改正のポイント

1. 労災保険率の改定
●正誤問題⑨Q/A
2. 雇用保険率の改定
●正誤問題⑩Q/A

【健康保険法】□改正のポイント

1. 保険料に関する改正
2. 高額療養費の支給方法の改正
●正誤問題⑪Q/A

【国民年金法・厚生年金保険法】□改正のポイント

1. 国民年金に関する届出の省略
2. 国民年金の年金額の改定
3. 国民年金の保険料額
4. 在職老齢年金の支給停止基準額の改定
●正誤問題⑫Q/A

【一般常識—求職者支援法】□改正のポイント

1. 職業訓練受講給付金の支給
●正誤問題⑬Q/A

最近の法改正事項から出題

平成23年度の社会保険労務士試験は、受験申込者数は4.2%減少し、70,000人を割ったものの、依然として法律系国家資格として人気は高い。その一方、合格率は7.2%と前年の8.6%よりも厳しい結果となった。職業別合格率は会社員が51.3%となっており、本誌読者も含め、企業において実務担当者が少なからず受験していることが推察できよう。本稿では、本年度の社労士試験（第44回、8月26日）の予想問題を実務にスポットを当てて取り上げる。とはいえ、出題科目と範囲が広いのがこの試験の特徴だ。そこで、より出題可能性の高い、ここ1～2年の「法改正事項」に関するものに絞り、前半の問題編(Q)では、主要科目の改正事項の概要と予想問題を取り上げ、後半の解答編(A)で解説と併せて関連した実務上のポイントについて説明する。

(坪 義生)